

(4) 小工場扶助規正要求の件 (本部提出) 伊藤栄次郎説明
工場法非適用工場に於ける災害、疾病失業の補償を要求すること。
可決

(5) 夜業全廃の件 (本部提出) 塚本幸之助説明
可決

(6) 労働農民党支持の件 (京都提出) 一面甚なる説明
無産政党政権問題に各地方の情勢により自由問題とすべし、否決。
備考。京都陶磁器組合共産主義的色彩あり同盟内の急進派にして日本労働
組合評議会に好感を有す。政党内労働農民党京都支部と支持して居る。

(7) 日本労働総聯合加盟の件 (本部提出) 荒谷宗治説明
政治行動の主体なる日本労働党とは関係なし。経済行動の主体たる日本労働
総聯合に加盟せんとを力説したるも、京都側は極力反対し、議場騒然、東濃、東春
の代表の一部は保身説を主張し採決の結果、四十八票対三十三票にて保身説勝つ。
(本問題より本同盟は四月廿五日に大分裂を遂げた。その顛末は「日本実業労働総

同盟の成立」として次号に譲る)

(8) 大倉宣言発表の件 (省署)
可決

△緊急勸議
7. 大平洋労働組合会議に激励電報打電の件
可決
2. 同財同盟及鉄道従業員防議に激励電報打電の件

△決算報告
△役員改選
(1) 中央執行委員
東濃聯合会 小本曾三郎 外五名
名古屋聯合会 古田政四郎 外二名